

2019年9月30日
商工中金

地方独立行政法人東京都立産業技術センターと商工中金が、 「業務連携に関する協定書」を締結することについて

商工中金は、本日、地域産業の活性化を図ることを目的として、地方独立行政法人東京都立産業技術センター（以下、都産技研）と「業務連携に関する協定書」の締結を行いました。

中小企業は、大企業に比べ「ヒト・モノ・カネ」に制約があり、新たな技術開発や研究を行っていくうえで、施設や人員の確保など相応の負担が伴います。また、中小企業を取り巻く環境は、IoT化、グローバル化、EV等の新技術への対応など、めまぐるしい変化が続いています。

都産技研は、最先端の施設や機械設備、多くの研究員を有する中小企業の技術支援を行う東京都が設立した公設試験研究機関です。都産技研と商工中金は、お互いの強みを活かし、中小企業の新たな技術開発や研究に対し、各種ソリューションを提供しつつ、中小企業の経営課題解決に取り組んでいきます。

2019年8月に開催された「タイ・ローカル企業とのビジネス商談会」（商工中金とBOI（タイ投資委員会）主催）においては、都産技研バンコク支所の阿保支所長による現地中小企業への技術サポートを実施しました。今後も、両機関は相互にお取引先を紹介するなど、継続して中小企業へのサポートを行っていきます。

1. 業務連携・協力の主な内容

- ・企業等の技術力・製品開発力の向上に関すること
- ・産業を支える人材の育成に関すること
- ・企業等からの相談・問い合わせに関すること
- ・技術経営支援・産学公金交流・情報発信に関すること

2. 締結日

2019年9月30日（月）

【地方独立行政法人東京都立産業技術センターの概要】

所在地	東京都江東区青海 2-4-10
理事長	奥村 次徳
設立	1921年10月
業務内容	・中小企業の技術支援（研究開発、製品開発支援、産業人材育成、技術経営支援） ・展示会・イベント開催、施設見学等の情報発信 ・バンコク支所を活用した日系企業の海外サポート



（右）都産技研 理事長 奥村次徳
（左）商工中金 常務執行役員 佐藤隆久